

## 保護者・地域による外部評価

「子どもは、自分から進んであいさつすることができている。」の項目について【あまり出来ていない・出来ていない】という回答が多くなっています。児童の様子から朝の登校時、校長先生には、ほとんどの児童がしっかりとあいさつできています。これが普段の生活で家族や友だち・地域の方々など、誰に対しても進んであいさつできるように育ってほしいです。今年度も上鳥羽小学校で大切にしている「あいさつ・そうじ・感謝・学び合い」の中のひとつですが、このような結果になったことをしっかりと受け止め、児童会のあいさつ運動や学級での話し合い活動など、児童の自発的な活動を通して、進んで挨拶できるように取り組んでいきます。どうぞご期待ください。

「読書好きの子どもに育ってきている」の項目について、児童と保護者で認識の差が大きく、保護者の皆様の回答からは、子どもたちがより多くの本に触れ、読書をしてほしいという願いが見えます。読書については、地域の図書館がやや離れたところにあり、活用しにくい現状もあり、本校の長年の課題でもあります。このような特徴から、学校図書館の活性化を図るため、学校司書や図書委員会を中心に、読書月間など、本に係るイベントを活用しておすすめの本を紹介する等、子どもたちが本に興味を持ち、読書の世界に浸れるように取組を進めていきたいと思っています。

## 児童のふりかえりのアンケート結果

「自分のめあてをさいごまでやりきる。」の項目において、【あまり出来ていない・出来ていない】と回答している児童が15%います。上鳥羽小学校の児童には、自分でやると決めたことはねばり強く最後までやり切る強い心を育てていきたいです。まずは、児童ひとり一人が自分の強みと弱みを理解し、どのようにして自分の強みをいかけていかなくはいけません。この結果をしっかりと受け止め、プランニングしていききたいと思います。

「すききらいせず、バランスよくごはんをたべている」は、あまり出来ていない・できていないの回答が多くなっています。食育を大切にしている上鳥羽小学校にとっては、改善しいきたい結果です。「食育」とは、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食育ことは生涯にわたって続く基本的な営みですから、子どもはもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。子どもたちの生涯にかかわることだと位置づけ、取り組みたいと思います。

## 教職員（自己評価）のアンケート結果

「児童は、基礎的基本的な知識・技能を習得している。」は、よく出来ている・出来ているの回答が多くなっています。今後もより児童が理解できるよう授業や個別指導のあり方などの研修を重ねていき、基礎基本から応用へステップアップしていけるように取り組みたいと考えています。

アンケート結果にはありませんが、家庭学習の定着が学校の課題として、よく教職員の間で話題にあがります。日々の家庭学習は必要不可欠であり、家庭学習の定着を図るための宿題の出し方や、家庭学習に対する意識の向上も今後の課題として捉えていくことが大切だと考えます。また、家庭学習の充実を図るために、家庭学習の重要性についての学校からの発信や啓発を今後も継続的に行っていきます。

「学び続ける」ということが教育の目指すところであり、学校だけでなく保護者・地域の取組としても家庭学習の定着が求められています。今後とも、学校は子どもたちの生活習慣の一つとして家庭学習を位置づけ、保護者への啓発を学校だより・学級だより等で行いたいと考えています。



## 学校関係者評価 学校運営協議会 理事会 令和6年10月

- ・読書については、ご家庭で読書の時間を確保してほしい。図書ボランティアと連携し、児童の本への意欲を掻き立てるような取り組みをしてほしい。
- ・挨拶の取組については、できていないことは残念である。根気よく挨拶の取組を考えてしてほしい。日々の児童の様子では、だんだんと挨拶できるようになっている。今後も継続して、保護者の皆さんをはじめ、地域住民とのさらなる連携強化を図り、心の通った「あいさつ運動」を地域全体で取り組んでいきたい。
- ・地域の高齢化が進んでいる中で、次世代の地域のリーダーを育てていかなくはいけない。学校・保護者・地域とのつながりは大切である。子どもだけではなく、地域の大人同士も含め、「人と人とのつながり」の大切さを皆が感じていけるよう、学校とも協力していきたいし、地域の団体の中でも取り組んでいきたいと思っている。
- ・子どもたちの間で、ピアスや髪の毛の色を変えている人数が増えてきていることを危惧している。本当に小学生の生活にピアスや毛染めが必要なのかを皆で考えていけるといいと思う。

